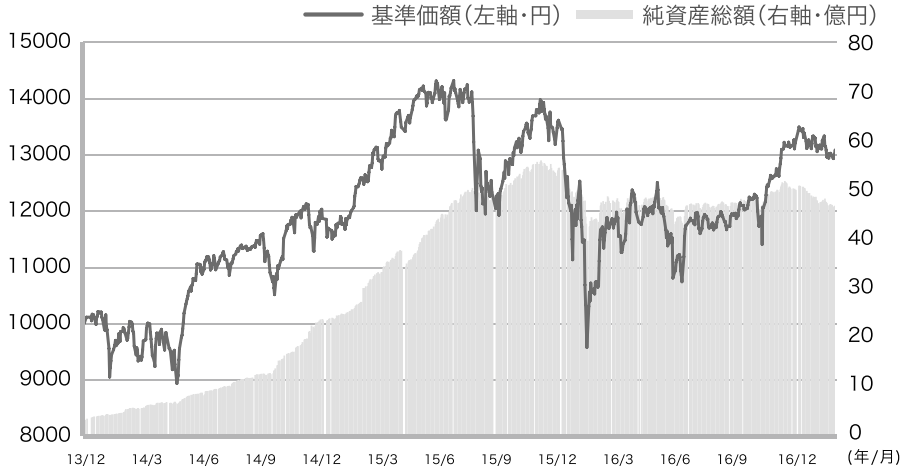




2017年3月31日付

基準価額の推移



分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)
0円	0円	0円

基準価額の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲1.24%	▲3.17%	7.76%	7.64%	31.78%	28.00%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

受益者の皆様へ

2017年1～3月期の日経平均は、18,600円台から19,600円台までの狭いレンジの中で推移し、若干のマイナスリターンとなりました。当ファンドも同様にマイナスとなってしまいましたが、4月から始まる新年度は前年度に比べて様々なリスクが軽減していくことを見込んでおり、当ファンドにとって絶好のチャンスが近づいていると考えています。この前提の上で“下がったら買い”の精神は維持しており、しっかりとチャンスを捉えて参ります。

足元では、コーポレートガバナンス・コード、スチュワードシップ・コードの流れが加速しつつあり、株主と企業の双方が緊張感を持って企業価値を高める方向に動いています。まさに我々が描くシナリオ通り“株式の開国”の動きが本格化する見込みです。今後もさらなるパフォーマンスの向上を目指して参りますので、今後とも是非ご期待下さい。



チーフポートフォリオマネージャー 糸島 孝俊

ファンドのデータ

基準価額	12,800円
純資産総額	4,563 百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して
います(後述の「ザ・2020ビジョンの費用」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加に
より逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、
年率1.242%(消費税込)です。

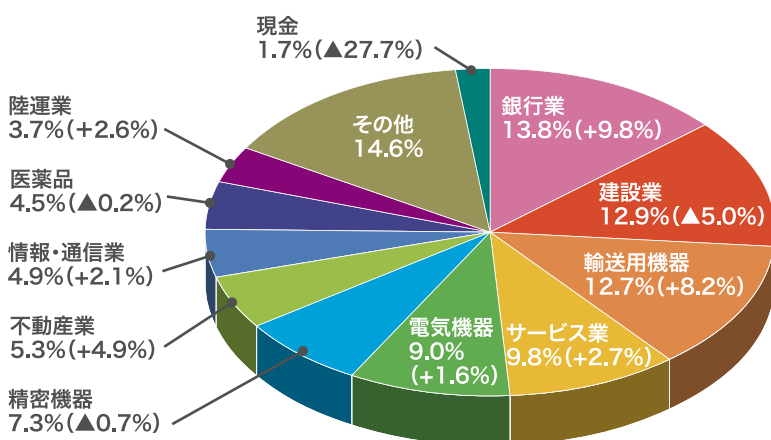
ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	98.3%	27.7%
現金等	1.7%	▲27.7%
構成銘柄	54社	1社

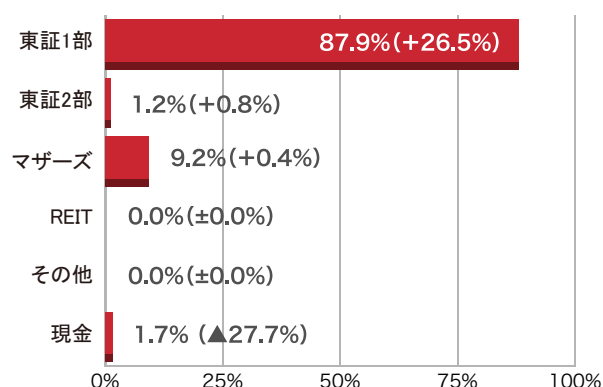
市場概況

3月上旬は、FOMCメンバーの利上げに前向きな発言を受けて、ドル高円安の流れとなり、株式市場は上昇して始まり、日経平均は19,500円を回復しました。その後は、米株安や北朝鮮のミサイル発射を受けた地政学的リスクの高まりなどにより、外需株中心に売られる展開となり、19,200円を割り込む水準(ザラバ)まで小幅に下落しました。14~15日に開催されるFOMCを前に米利上げペースの加速観測が再燃、日経平均は19,500円を再度回復しました。FOMC(15日)による利上げ決定後、利上げペースが想定よりも緩やかになるとの見方から、円高基調に拍車をかけました。24日には、オバマケア(医療保険制度改革法)代替法案が撤回されたことで、トランプ大統領の政権運営に関する不透明感が強まったことなどによる米株安及び円高の進行により、月末の日経平均は19,000円を割り込む水準まで下落しました。

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

運用状況

◎主な投資行動

3月前半は、米株安や北朝鮮のミサイル発射による地政学的リスクの高まりなどを嫌気して下落する局面もありましたが、基本的には14~15日に開催されるFOMCでの利上げ決定、及び利上げペースの加速観測などが好感され小幅ながら上昇しました。この局面では銀行業や輸送用機器などを買い付ける一方、食料品などを一部売却することで、株式等組入比率を70%から85%程度にコントロールしました。

FOMCでの利上げ決定後(15日)、株価が急落した22日以降に同比率を95%以上に引き上げました。株価急落の主な要因としては、FOMCにおいてメンバーによる政策金利見通しが大きく変わらなかったことで利上げペースが速まるとの見方が後退したことや、G20財務相・中央銀行総裁会議(17~18日)の共同声明をきっかけに米国を中心とする保護主義の高まりを背景とするドル安円高の進行があげられます。米利上げペースの鈍化観測によって進行した円高や、米長期金利の低下(日米金利差縮小)などによって下落した銀行業や輸送用機器などの外需株の株価水準は、中長期的な観点から割安と判断し、組入比率を引き上げました。

◎ファンド月間リターンとその要因

3月の月間リターンは1.24%の下落となりました。主な要因は今月に組入比率を引き上げた銀行業や輸送用機器、不動産業などが下落したことなどによるものです。なお、当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIXは1.48%下落、日経平均は1.10%下落となりました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位5銘柄の紹介

(2017年2月28日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
三菱重工業		世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
機械	4.6%	
クボテック		液晶・有機EL検査装置のカスタム品メーカー。成長が見込める蓄電事業に注力。当社が取り組むフライホイール蓄電システムは、電力で円盤形のフライホイール(高速回転体)を回転させ、電気エネルギーを運動エネルギーに変換して貯蔵。短い時間での充放電に適する。
精密機器	4.1%	
五洋建設		売上高に占める公共工事比率が3割程度と高く、国内およびアジアでの海上土木に多くの実績。東京港埠頭・羽田空港整備、防衛関連工事、国内洋上風力、香港・シンガポール・ミャンマーのプロジェクト、などへの参画が期待され、今後数年、受注拡大が見込める。
建設業	3.7%	
CYBERDYNE(サイバードイン)		ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。
精密機器	3.4%	
ペプチドリーム		国内外の大手製薬企業との共同研究開発のもと、医薬品候補物質を創製することを主たる事業とする創業ベンチャー。2006年7月設立で、独自の創業開発プラットフォームを活用して、特殊ペプチド医薬に特化した事業を展開。
医薬品	3.0%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。 ● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

3月11日(土)に弊社8周年イベントの「2020年に向けて」において、「Preferred Networks(プリファード・ネットワークス)」のCOO長谷川順一様と対談しました。同社は、人工知能の分野で高い研究成果を挙げるなど、この分野においては知る人ぞ知る会社です。長谷川様からのお話で、トヨタやファナックなど世界中の優良なデータを持つ企業でなければ、生き残れないというお話がありました。

<講演動画><https://youtu.be/ZvUmydz8s-8>

<対談記事><http://park.common30.jp/2017/04/ai.html>

日本では、まだ人工知能の導入にあまり積極的ではありません。なぜならば、日本の経営者の多くは米国に比べてITリテラシーが劣後している場合が多く、人工知能が云々と議論する前に、IT(システム)を活用することで事業の競争力を高める「攻めのIT投資」の実践すらできていないからです。裏を返せば、日本企業の多くはこれからそうした変化の局面を迎えるため、その数だけ投資チャンスが潜んでいるとも言えます。これらの企業はまず、人工知能の導入というよりも、企業が有するコアの機能とITを融合させてビジネスを革新するため能動的に変化することに着手しなければなりません。ECや金融業など既にITと親和性の高い企業ではなく、むしろモノづくりの企業(製造業)こそ、ITとの融合が急務であると考えます。日本の自動車や機械、電子部品などの技術力は、世界から高く評価されていますが、いつまでその地位を保つことができるでしょうか。製品を販売して終わる売り切りビジネスから、高い技術力とITを掛け合わせることで、製品の利用を通して集められるデータを元に新たなサービスを提供するビジネスモデルへ変化させなければ、彼らに明るい未来はないと確信しています。

当ファンドの投資対象は、中長期の視点での「変化をはじめた企業」、かつ「変化にチャレンジする企業」です。人工知能の発展を機に、次世代のビジネスモデルへと変化を始める企業に投資することで、ファンドのパフォーマンスの向上に貢献したいと思っています。

シニアアナリスト兼ポートフォリオマネージャー 鎌田 聡

コモンズPOINTからのお知らせ こどもトラストセミナー「みるを知る」

コモンズ投信8周年イベントにて、POINTの応援先である視覚障害者柔道の選手をお迎えし、こどもトラストセミナーを開催しました。リオパラリンピックに出場した石井亜弧選手、半谷静香選手、そして東京パラリンピックでの活躍が期待される斉藤大起選手が先生になってくださいました。

まずは参加者同士で「好きなもの」を質問し合うことからスタート。相手のことを知るとお互いの距離が近くなります。そして選手たちからこどもたちは、「見えない」にも色々な「見えない」があることを知りました。また、どんな時に困って、どんな工夫をしているかなどお話を聞いているうちに、自分たちこどもにも困る時があることに気づきます。お店で商品に手が届かないことがある、そんな時に背の高い斉藤選手がいてくれたらとってくれそうだね、など。それぞれにできること、できないことがあって、声を掛け合えば助け合うことができることを知ったこどもたち。最後に、「東京パラリンピック、がんばってください。応援しています」と選手たちと握手しました。帰り際お父さんに、「東京パラリンピック、行ける？」と早速聞いている子もいました。



コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <http://www.common30.jp/seminar/>

◎定例の運用報告会です!ぜひご参加ください。

セミナー名	日付	時間	場所
ザ・2020ビジョン ファンド説明&運用報告会	4月14日(金)	19:00~20:30	愛知県名古屋市(ウインクあいち)
	4月15日(土)	14:00~15:30	福岡県福岡市(AQUA博多)
	4月21日(金)	19:00~20:30	東京都千代田区(船井セミナールーム)
	4月22日(土)	13:30~15:00	大阪府大阪市(AP大阪淀屋橋)

◎糸島孝俊メディア出演情報

日付	時間	メディア	備考
4月18日(火)	22:00~23:00	BSジャパン「日経プラス10」	22:50頃インザマーケットのコーナーに生出演
4月19日(水)	5:45~7:05	TV東京「モーニングサテライト」	6:30頃「今日の株式見通し」に電話出演

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
(株)SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券(株)	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)

03-3221-8730

■ウェブサイト

<http://www.common30.jp/>

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階